

# '13.11

毎月1回20日発行 定価 1部60円  
発行人 兵庫県商工会連合会  
代表者 木南 岩男  
発行住所 神戸市中央区花隈町6番19号  
☎078(371)1261㈹ 〒650-0013  
http://www.shokoren.or.jp/  
編集人 安 平一  
印刷所 有限公司 浜田デザイン写植  
会員の購読料は会費に含んでおります

第675号

# 兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成25年度 スローガン

## 商工会は行きます 聞きます 提案します



▲ちりめんじゃこの天日干しの作業風景。太陽の光を浴び、白く輝く。

### Contents

#### ■県連会Letter 2~3頁

- ・近畿ブロック商工会青年部交流会・主張発表大会
- ・小規模事業者経営改善資金融資制度講習会
- ・兵庫県青年洋上大学海外養成塾 参加報告
- ・近畿ブロック商工会女性部交流会・主張発表大会

#### ■あなたのまちの元気な企業(淡路市) 4頁

#### ■商工会Letter 5~6頁

- ・チャレンジマルシェがオープン … (養父市)
- ・第2回 香美 産業&食フェア開催 (香美町)
- ・コラム「ひょうご支援の扉」
- ・産学連携インターンシップ事業 … (加東市)
- ・「劇団四想」が初公演 (宍粟市商工会青年部)
- ・「町屋の芸術学校」開校 …… (篠山市)

藤本水産株式会社は、昭和10年創業、創業より淡路島の西浦・瀬戸内で獲れたイカナゴ、イワシ(ちりめん)を中心、「無添加」にこだわった海産物の製造加工をしている。現社長の藤本充茂氏は、加工が主であった商品を地元のお客様に直販したのをきっかけに「おいしい」との口コミが広まり、お客様の要望もあり全国に宅配する事業へと拡充した。また、加工場に隣接して直販所も開設、地元をはじめ観光客のリピーターも多い。お客様から「おいしかった」との声がうれしくて社長は「より良い品を、より安く、よりおいしく、安心し喜んでいただける商品を作り続けて行きたい」と日々努力を重ねている。これらの商品は、北は北海道から南は沖縄まで幅広く、主に関東・関西圏を中心に販売している。(詳細は4頁)

藤本水産株式会社

(淡路市)

淡路島のちりめん屋

9月11日～12日、近畿ブロック商工会青年部交流研修会・主張発表大会（本年度幹事・兵庫県）が姫路市・姫路キヤッスルホテルで開催され、近畿各府県青年部員333名が参加した。

当日は、各府県代表による主張発表大会が行われ、本県からは、豊岡市商工会青年部の田岡は、翌日には、研修3として「播磨県連合会は、9月26日～27日、姫路市「夢乃井」において、金融審査委員等の審査能力の向上と、日本政策金融公庫との連携を密にすることを目的に、小規模事業者経営改善資金制度講習会（通称・マル経講習会）を開催し、79人の参加があった。研修1では、信州大学経済学部教授・真壁昭夫氏を迎えて、金

## 小規模事業者経営改善資金 融資制度講習会を開催

融動向を読み解く」と題し、世界経済の動向やアベノミクスの行方等講演があつた。

研修2では、日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業統轄はじめ各管内の事業統轄から「マル経制度導入から今日まで」、「各

公庫の管内の現況」についての説明があつた。

最優秀賞は和歌山県代表・森武志氏、優秀賞には田岡氏、優良賞は京都府代表・辻井茂弥氏がそれぞれ受賞した。

また、研修として、藤尾コンサルティング事務所、中小企業



▲最優秀賞の森武志氏（和歌山県）

聖司氏が兵庫県代表として出場。「青年部活動と地域振興」について熱弁を振るつた。

審査の結果、会青年部連合会会長・宮本博史から「元気な商店街づくり地域づくりにおける3つのポイント」をテーマにそれぞれ講演をいただいた。

近畿ブロックの青年部が一同に交流を深め、有意義な研修となつた。

## 近畿ブロック商工会青年部交流会・主張発表大会を開催



診断士・藤尾政明氏から「今こ

そ動くとき！経営革新」、高知県

商工会青年部連合会副会長・濱

口涼子氏から「部員増強どうす

るの？女子でしょ！」、全国商工

会青年部連合会会長・宮本博史

から「元気な商店街づくり地

域づくりにおける3つのポイント」をテーマにそれぞれ講演

をいたいた。

近畿ブロックの青年部が一同

に交流を深め、有意義な研修と

なつた。



▲熱心に講演する真壁昭夫氏

### 11月のこよみ

- 6日(木) 事業承継研修会
- 13日(木)～15日(金) 中小企業支援力向上研修会
- 15日(金) 県青連正副会長・常任理事会・理事会・部長会、リーダー力向上研修会
- 16日(土) 環境経営セミナー
- 21日(木) 第53回商工会全国大会
- 22日(金)～24日(日) ニッポン全国物産展

### 12月のこよみ

- 5日(木)、6日(金) 経営支援研修会(税務関連)
- 6日(金) 平成25年度 簿記検定試験
- 11日(木) 第2回事務局長会議
- 12日(木)～13日(金) 管理職養成研修会



▲超満員の会場

### 小規模企業共済制度

経営者ご自身の「現役引退後の生活資金」のことをお考えですか？  
年金だけでは不十分で、不安がある。自分で積み増しするには、どんなものがあるのかな…

掛金は全額所得控除

1 加入し、掛金を毎月積み立ておけば…

2 将来、「廃業」「役員退任」等が生じたときに共済金を受け取れます。

3 現役引退後の安心した生活設計が図れます。

★毎月3万円の掛金(年間36万円)で、例えば課税対象所得400万円の方なら、約11万円の節税になります。(左図は確定申告書の記載例)

●共済制度の詳しい内容は、パンフレット等を必ずご覧ください。

小規模企業共済

検索

制度の運営機関：独立行政法人 中小企業基盤整備機構 TEL 050-5541-7171 (共済相談室) URL <http://www.smrij.go.jp/kyosai/index.html>

## 兵庫県青年洋上大学海外養成塾 参加報告 新興国に学ぶ～商工業発展の一躍を担うために～

(左から)野田、大上、寺本



現地大学生との交流で、自分と同世代の彼らの何事にも素直で真摯な姿勢に、見習うべき点を多く感じました。

現地企業の視察や企業家のお話では、ベトナムでのビジネスが日本の場合と共通点を持ちながらも、異なる工夫が必要であるということを学びました。

今回の研修の貴重な経験を今後の活動に生かしていきたいと思います。

(兵庫県商工会連合会 野田彩花)

(公財)兵庫県青少年本部が主催した「兵庫県青年洋上大学海外養成塾」(9月11日～16日)に商工会等職員が3人参加し、ベトナム社会主義共和国ハノイ・ホーチミンを訪問。日越友好40周年の記念すべき今年、現地の青年との交流をはじめ、さまざまな体験を行った。

企業訪問、現地大学生との交流、クチントンル見学等を経験し、ベトナムの懐の深さに感動しました。

小さな小売店、食堂、衣料品店などが乱立する街並みは、外国のコンビニや大手ファーストフードの進出を、国が規制しているためであった。

また、スマホを見ながら歩き、原付バイクが行き交うたくさんの人に圧倒され、日本のパートナーとして重要な国であると実感しました。

(南あわじ市商工会 大上兵真)

現地の大学生との交流、企業視察を始め、今まで体験したことのない異文化に触ることは、とても貴重な体験になりました。

ベトナムの方は、勤勉で真面目、ストイックに学業や仕事に打ち込み、それでいて温かい方ばかりでした。その姿から、学ぶことは多かったと思います。

他の参加者と交流を深めることができ、普段では体験できないものだったと思います。この体験を今後の職場、地域活動に活かしたいと思います。

(加東市商工会 寺本勝哉)

国税庁  
**「税務署の仕事」動画で配信中!**



国税庁 検索

税を考える週間  
11月11日(月)～17日(日)

9月4日～5日、奈良県橿原市・橿原ロイヤルホテルで「近畿ブロック商工会女性部交流会」が開催され、近畿府県から約430名の参加があった。

この事業では主張発表大会(近畿大会)が行われ、各府県からの代表者7名が、それぞれの女性部活動を通して得た経験などを生き生きと発表した。

本県からは、上郡町商工会女性部・井上寿美恵氏が代表として出場。「円心モロどん」でおもてなしの心」と題し、上郡町特産品のモロヘイヤを使つたうどんをご当地グルメとしてPRする取組みについて、のびのびと発表された。

審査の結果、最優秀賞は福井県おおい町商工会・新谷真由美氏、優秀賞は奈良県御所市商工会・正司朋代氏がそれぞれ受賞した。

### 近畿ブロック 主張発表大会

始めませんか～新しい環境貢献～

#### ひょうご「企業の森づくり」

環境への貢献のため、森林整備をお考えの企業や団体等の皆様のお手伝いをします。

- 活動フィールドの斡旋
- 森林整備についての助言・提案・技術指導
- 施業委託先の紹介

◆お問い合わせは◆  
公益社団法人 兵庫県緑化推進協会  
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-5-18 鳴林美会館内  
TEL 078-341-4070 / FAX 078-341-4071  
URL: <http://www.hyogo-green.net/>

兵庫県農政環境部 環境創造局 豊かな森づくり課  
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1  
TEL 078-362-3144 / FAX 078-362-3954

### 一中小企業と共に50年一 商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

# 県共済

兵庫県火災共済協同組合  
兵庫県共済協同組合

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28 兵庫県中央労働センター 4階  
☎ 078-361-8083 Fax 078-371-6757  
ホームページ [www.Ken-Kyosai.or.jp](http://www.Ken-Kyosai.or.jp)



▲藤本水産(株)の直売所

向かふ(みけむかう)を枕詩に詠まれ、神や天皇に捧げる食物供給の地として「みけつ国」と呼び親しまれるグルメな島でもある。そこでとれた新鮮な魚介類を加工販売している藤本水産㈱に今回、企業取材におとずれた。その日も朝から漁港で揚がつたちりめんが白く輝く雪のように並んでいた。



▲湯気が立ち込める加工場

淡路島は万葉の昔より、「御食」(みけつ)を枕詩に詠まれ、神や天皇に捧げる食物供給の地として「みけつ国」と呼び親しまれるグルメな島でもある。そこでとれた新鮮な魚介類を加工販売している藤本水産㈱に今回、企業取材におとずれた。その日も朝から漁港で揚がつたちりめんが白く輝く雪のように並んでいた。

大きな釜で2分ほどゆでたものを乾燥機で半乾きにし、その後2~3時間天日干しにする。

「これうまいぞ!」と差し出され、ゆでたてをいただく。一口頬張ると磯の香りが口いっぱいに広がる。

「味の決め手は、ゆでるときの水と塩。この塩加減が微妙で、素材を生かすため塩分は控えめにしていい」と社長。

この日も多くの漁があり、大忙し。

「機械でも出来るが、やはりお日さんにたくさんあてて干したものは、味もええし色も白くなれる。これがうちのちりめんや」

「ちりめんは白いものが好まれるから、漂白や着色をしているものもあるけど、うちは無添加にこだわって素材の味を大切にしたいんや」と社長は語る。

## 全国に 向けて発信

「地元のもんを全国に!」同社の三代目・山下雅令氏が中心となって全国に向けて自社商品のPRを行っている。淡路市・淡路市商工会が23年度から行っている

## 商工会はまちの リーダー的存在に

淡路島というブランドを全国に発信することで島が活性化する。情報発信という面では東京PRなどで商工会にはお世話にな

### 【企業概要】

企業名/藤本水産株式会社  
代表者/代表取締役社長 藤本充茂  
創業/昭和10年  
営業時間/8:00~18:00  
定休日/1月1日・2日のみ  
所在地/〒656-1602 淡路市育波387  
フリーダイヤル 0120-84-1913  
電話 0799-84-1126  
FAX 0799-84-1140  
HP <http://www.fujimoto-suisan.co.jp/>

●あなたのまちの元気な企業・  
**藤本水産株式会社** (淡路市)

御食国(みけつくに)・淡路の海の幸を全国へ

白く雪のように輝いて 塩加減が命



▲太陽の光を浴びて白く輝く「ちりめん」

東京PRキャンペーンでは、同事業所の商品はいつも完売。人気も高く毎年リピーターが増え、PRの目玉商品となっている。『淡路島の新鮮な海産物・食材を全国の人たちに知つていただけたら』と三代目。



▲ネット販売されている詰め合わせは大人気商品

なっている。商工会は農業・商業・商業とか関係なく、まちのリーダー的存在であつてほしい。また、淡路島は特に農・漁・商業だけではなく、ページ上で「商品の美味しい食べ方」のレシピを公開するなど、家庭で美味しく味わつてもらうことにも力を入れている。

ドしていく役割であつてほしいと願います。



▲オープニングのテープカット  
(左端・朝倉会長)

香美町商工会(朝倉富征会長)は、9月20日～21日、香住B&G海洋センターにおいて、「第2回 香美産業&食フェア」を開催し、39企業が出展した。同フェアは、地元企業の優れた技術やサービスを町内外及び地元学生にもPRすることにより、若者の定住化を促進することを目的に開催。企業間の連携力を高め、販路拡大とビジネスマッチングの拡充を図った。

香美町商工会(朝倉富征会長)は、9月20日～21日、香住B&G海洋センターにおいて、「第2回 香美産業&食フェア」を開催し、39企業が出展した。同フェアは、地元企業の優れた技術やサービスを町内外及び地元学生にもPRすることにより、若者の定住化を促進することを目的に開催。企業間の連携力を高め、販路拡大とビジネスマッチングの拡充を図った。

今年は「食」の面からも効果が得られるように食ブースを併設。昨年の「見る」「聞く」「体験する」に「食する」を加え、幅広いバリエーションで地元産業の情報発信を行うことが出来た。2日間とも天候に恵まれ、学生を含め昨年を大きく上回る約1,400人の来場があり、「企業と町の活性化に繋げて欲しい」と多くの声が聞かれた。

同商工会では、今後も香美町の企業を広く町内外へ発信し、産業基盤の再生と地域活性化に繋がるよう継続して開催していく予定である。

## 「第2回 香美産業&食フェア」開催

—香美町商工会—

養父市商工会(神田武会長)は、9月13日、養父市万久里「チャレンジマルシェ」会場で、養父市チャレンジ事業「チャレンジマルシェ」をオープンした。

本事業は、養父市内で起業しようとする個人・グループ・事業所を対象に、商工会が五棟のコンテナショップを期限付きで提供し、出店を支援するもので、今年度が初めての取組みとなる。

チャレンジショップで試験的に店舗経営を行い、将来養父市内で開業を目指す事業者を育成する目的で、敷金・礼金は不要。家賃・水道光熱費等を含む安価な出店料金を設定し、1日～1ヶ月単位で利用できる。取扱品目に制限はないが、飲食物を提供する場合や販売に許可が必要なものは、出店者で許可申請を行う。

海産物を扱う店舗や、焼き菓子を調理販売する店舗が、出店している。



▲さまざまな店舗がオープンした

## 起業に挑戦する市場に チャレンジマルシェがオープン

—養父市商工会—

養父市商工会(神田武会長)

は、9月13日、養父市万久里「チャ

レンジマルシェ」会場で、養父市チャレンジ事業「チャレンジマルシェ」をオープンした。

本事業は、養父市内で起業しようとする個人・グループ・事業所を対象に、商工会が五棟のコンテナショップを期限付きで提供し、出店を支援するもので、今年度が初めての取組みとなる。



## ひょうご支援の扉



### 続出する補助金メニューに求められる支援スピード!

芦屋市商工会 辰巳 博計

## コラム

芦屋市商工会では中小企業診断士の黒野秀樹氏をアドバイザーとする月1回の定期相談会を実施しています。経営指導員が創業予定者や会員事業所から相談内容を聞き取り、必要に応じて相談会のセッティングをし、黒野氏、相談者・担当指導員の3者で解決を図っています。この相談会、昨年は経営革新を申請するによく活用し、私も相談会を足がかりに、2件の申請をして無事に承認されました。

ただ、反省すべき点はスピーディ感に欠けたこと。せつからく相談会で叩き台ができる相談者と私自身のお互いの仕事の忙しさが重なり、進捗しない時期がありました。結局、申請時期が当初見込みよりずれ、リライトしなければいけない箇所があり、いつたん停滞したまま再開するのは最初からするとより極めて不効率だったと痛感しました。

# 若い感性と視点で地域活性化を図る 「加東市商工会」

産学連携インターインシップ事業

加東市商工会（宮崎良平会長）

では、9月9日から13日、商工会産学連携支援事業（インターフィンシップ事業）を実施した。

連携大学の兵庫県立大学・経営学部事業創造学科2回生の学生34名が加東市内にある7事業所において、就労体験や事業提案のための調査やヒアリングを実施。



▲参加した兵庫県立大学の学生たち

学生達は5日間のインターンシップを終え、来年2月の最終報告会へ向けて、レポート作成に励む。そのレポートが企業の意識改革を促進し、ひいては地域の経済活性化に繋がることを期待している。

## 「想いをかたちに」青年部が劇団を旗揚げ 「劇団四想」が初公演

宍粟市商工会青年部

宍粟市商工会青年部（深川徹朗部長）は、市内に伝わる昔話や説話などを劇にして、次代に継承することを目的として、「劇団四想」を旗揚げした。

劇団名は、宍粟市4町が想いを一つに地域貢献を担つていこうと「四想」と命名した。メンバーは幾度も練習を重ね、

9月13日に、宍粟市の老人ホーム「白寿園」において、初公演を行った。「屁こき嫁」と「年桶」の2話を上演した。



▲舞台で熱演する青年部員たち

「劇団四想」の小寺泰永氏は、「演目を増やしていく、様々な場で、劇を通じて宍粟の文化歴史を次代に伝えて行きたい」と抱負を語った。

講演が行われた。



▲参加者が熱心に撮影

篠山市商工会（圓増亮介会長）では、今年度「町家の芸術学校プロジェクト」を実施している。同事業は、アートを切り口として篠山城下町を盛りあげようという取り組みである。

皮きりとして9月14日、観音寺伽藍において、県立美術館館長の蓑豊氏による「地域文化の育成と地域の魅力づくり」についての特別講演が行われた。

参加者は総勢10

2人、4歳から73

歳までと幅広く、

日常の喧騒を離れ、

秋の町屋の風情と

アートの時間を満喫した。参加者か

らは、「篠山に対す

る熱い想いに感激した」「ただの

ワークショップではなく、芸術

作家の指導が良かった」など好

評で、次回もぜひ参加したいと

の声が多かった。

次回は、11月下旬から12月上旬に、水彩画や布工芸のワーク

ショップや老舗和菓子

店と陶芸家のコラボによ

る器と菓子を楽しむ

会が予定されている。



▲観音寺伽藍での講演会

# 町屋とアートのコラボレーション 「町屋の芸術学校」開校

地域活力増進事業

「篠山市商工会」

「篠山市商工会」

登場!

私たち、兵庫県の皆さんとともに歩んでいく、  
地域金融機関です。



ご融資の相談は  
お気軽に“けんしん”へ

■詳しくは窓口へおたずね下さい。

いまでも これからも いつまでも  
兵庫県信用組合

〒650-0023 神戸市中央区栄町通3-4-17  
TEL 078-391-6315  
<http://www.hyogokenshin.co.jp/>



あなたの未来を強くする

住友生命

新保障

スミセイの  
がんPLUS  
プラス

登場!

住友生命保険相互会社 神戸事業部

〒650-0031 神戸市中央区東町126番地 神戸シルクセンタービル7F TEL:078-391-3229